

埼玉大学教育実践フォーラム 2025



—教育実践研究成果の発信と地域の学校・教員との交流の場— (第二次案内)

埼玉大学(附属学校園及び教職大学院を含む)による教育実践研究成果の公開、及び埼玉大学の教員が地域の学校・教員の皆様の研修機会を提供できるよう交流することを目的とする催しです。分科会では、講座・分野別、テーマ別に「ラウンドテーブル」で意見交流したり、「ワークショップ」で指導法や教材の紹介や個別質問に対応したり、様々なテーマに関心を持つ学校関係者の皆様とのネットワーク構築を目指しています。教師を志す人にとっても、教師の実践研究の成果から直接学ぶことができる貴重な機会です。学生、院生、教員、研究者が繋がる年に一度の催しに、ふるってご参加ください。

大会ホームページ

日時: 2025年2月15日(土)

<https://www.saitama-u.ac.jp/edu/>

会場: 埼玉大学(対面開催、一部 Zoom によるハイブリッド配信)

住所: さいたま市桜区下大久保 255 (一部は教育学部附属小学校(さいたま市浦和区常盤 6-9-44)で実施)

主催: 国立大学法人埼玉大学

後援: 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会



埼玉県公立小学校校長会 埼玉県中学校長会 さいたま市立小学校校長会 さいたま市中学校長会

問合せ先: 埼玉大学教育実践フォーラム実施委員会

電話: (048)858-3142 (開催当日は電話対応できません) Eメール: eduforumsaitama@gmail.com

参加申込み: 2月12日(水)までに、以下の URL か、左の QR コードよりお申込みください。【参加費無料】

<https://forms.gle/WHDoiMxHiUZ388MP9>



○オンラインで参加の方には前日までに Zoom の接続先をメールでお知らせします。

○対面参加の方には、当日参加者受付にてプログラム冊子とネームプレートをお配りします。

○駐車スペースが限られておりますので、できるだけ公共交通機関をご利用されますようご協力をお願いします。

お車ご利用の場合は、上記「問合せ先」の Eメールにて、代表者名と車両番号とともにお申込み下さい。先着順に入構許可番号をお送りします。近隣商店等への駐車は、絶対にお止め頂くようお願いいたします。

◇プログラム◇

9:00 ~ 受付

[教職大学院発表会] 対面のみ

9:30 ~ 12:10 現職院生・M1・M2 学卒院生発表

*埼玉大学教職大学院修了生で発表を希望する方は、Eメール等で申し出て下さい。

*発表会の詳しいプログラムは、1月下旬に公開します。

*完成した課題研究成果の報告書は、教職大学院のホームページに後日掲載されます。

[全体会] 対面と Zoom によるオンライン同時配信

13:00 ~ 14:40 全体会パネルディスカッション(下記)

[分科会] 対面、一部 Zoom によるオンライン配信

15:00 ~ 17:00 ラウンドテーブル、ワークショップ

*分科会の内容を裏面に掲載してあります。

*「体育・保健体育」分科会は裏面の通り会場が異なります。

*詳しくは、1月下旬に大学HPで公開するプログラムに掲載いたしますので、そちらをご覧ください。

【附属学校園の課題と試み 今年度のテーマ】 午後の全体会パネルディスカッション 13:00~14:40 新しい時代の学校教育に向けて —多様性を尊重した教育の実践と挑戦—

多様性を尊重することはますます重要なテーマとなっています。子どもたち一人ひとりの異なる背景や価値観を理解し受け入れていくことが、よりよい教育に繋がると考えています。今回の附属学校園の発表は、多様性を尊重した教育に焦点を当て、実践を紹介して参ります。また、大学教員や附属学校教員との交流を通して、明日の教育へのヒントを得られる場になりたいと考えております。

附属幼稚園 幼児教育への問いに実践から応えるⅡ —「楽しむ」とは何でしょう—

附属小学校 漸進する学び(2年次)

附属中学校 挑戦心を育む『令和の日本型教育』の実現~自己評価が育む 未来への挑戦心~

附属特別支援学校 児童生徒の確かな学びを目指した授業作り(3年次)

—「各教科等を合わせた指導」における学習評価の研究—

◇分科会プログラム◇ 15:00-17:00 分科会は、埼玉大学教育学部の教員が企画して実施するものです。
分科会ごとに開催方法が異なりますので、ご注意ください。
各プログラムの詳細と教室は、決まり次第、大会 HP に掲載します。

【国語】（ラウンドテーブル、企画 本橋幸康准教授）対面のみ

主体的な学びを促す国語科の授業づくり

【算数・数学】（ワークショップ、企画 二宮裕之教授、松寄昭雄准教授）対面のみ

『操作的活動』を生かす数学的活動：アナログ教材とデジタル教材

数学的活動における『操作』に焦点を当て、アナログ教材を手で操作することによる数学的活動と、デジタル教材を操作することを通した数学的活動の2つを実際に行ってもらおうワークショップを計画しました

【理科】（ワークショップ、企画 小倉康教授および物理、化学、生物、地学、理科教育学の教員）対面のみ

理科の各分野の教員や学生、長期研修教員、附属小中学校の教員が、現場で活用頂きたい教材や指導の工夫について随時ご紹介します。ぜひお立ち寄りください。

【生活・総合】（ラウンドテーブル、企画 宇佐見香代教授）対面を Zoom で同時配信（双方向）

防災をテーマにした総合的な学習の時間の指導計画を考える -「現代的・地域的教育課題の共同探求」の成果から- 今年度の教職大学院授業の探究の成果を発表します。各校で指導計画作成のヒントになると幸いです。

【外国語（英語）】（ラウンドテーブル、企画 奥住桂准教授）対面を Zoom で同時配信（一方向）

外国語における思考・判断・表現の活動を考える -タスクの実演と検討-

【図画工作・美術】（ラウンドテーブル、企画 平野英史准教授）対面のみ

図工・美術のワークショップ ~学校とは異なる文脈の美術教育を考える~

【音楽】（ラウンドテーブル、企画 森 薫准教授）対面を Zoom で同時配信（一方向）

音楽の先生のための現代音楽入門 -歴史と理論、授業実践の視点から-

話題提供(作曲の視点から)、話題提供(実践報告)

【体育・保健体育】（ラウンドテーブル、企画 菊原伸郎准教授）**教育学部附属小学校体育館で実施、対面のみ**

体育授業で活かせる実技を伴う教材のご提案とディスカッションの時間をご用意します。本年度はゴール型ゲームを扱う予定ですので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

13時からの全体会を附属小学校体育館にて Zoom 視聴しますので、直接附属小学校にお越しください。また、駐車場の御用意はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

【技術・情報】（ラウンドテーブル、企画 山本利一教授）対面を Zoom で同時配信（双方向）

冬に発表れる「諮問」を受け、新しい「技術・情報」教育の在り方を、実践事例を基に提案、協議します。

AI、デジタルファブリケーション、プログラミング、アントレプレナーシップ教育など、2年後に控えて全日本中学校技術・家庭科研究会研究会関東甲信越大会（埼玉）を意識した内容としたいと思います。登壇者の多くはオンラインでの参加となります。

【家庭】（ラウンドテーブル、企画 亀崎美苗教授）対面を Zoom で同時配信（双方向）

「家庭科の授業づくりを語る」今回は附属小の家庭科が目指す「生活をよりよくしようと工夫する児童の育成」をテーマに児童の自己決定を促し家庭実践につなげることを目的とした「調理計画・調理実習」の授業実践をご報告いただき、ディスカッションの時間を予定しております。

【STEAM 教育】（ラウンドテーブル、企画 野村泰朗准教授）対面を Zoom で同時配信（双方向）

[悩みをわかちあい協働的に解決] 実践事例から考える今日から始められる探求的な学びの場づくり

~教科の中での STEM/STEAM 教育と、主体性、問題解決力の育成~

【乳幼児教育】（ラウンドテーブル、企画 安東英里佳講師）Zoom で配信（ただし対面も可です）

附属幼稚園の挑戦 -子育て支援の拠点としての「こどもの育ち応援センター」設置の経緯と実践の報告-

【特別支援教育】（ラウンドテーブル、企画 山中冴子准教授）対面を Zoom で同時配信（双方向）

交流及び共同学習の充実を目指して：子どもの「声」を踏まえた教員間連携

【学校保健学】（ラウンドテーブル、企画 西尾尚美准教授）Zoom で配信のみ

養護教諭による中学生の栄養教育

【心理学】（ラウンドテーブル、企画 中井大介准教授）対面のみ

ご来訪いただいた先生方の心理学、生徒指導にかかわる研修上のご質問等に回答させていただきます

【教員研修】（ラウンドテーブル、企画 内河水穂子教授）対面を Zoom で同時配信（双方向）

個別最適な学びと協働的な学びの充実について考えよう！

・個別最適な学びと協働的な学びの充実には、どのような授業実践や校内体制が必要なのか、一緒に考えませんか？

・皆さんの授業実践や校内体制や、それに関する課題や悩みを共有し、個別最適な学びと協働的な学びの実施・充実について、一緒に検討していきましょう。

・皆さんの興味関心や課題に応じて、教育実践総合センター教員のミニ講義も複数予定しています。